

獨協医学会

会 長 稲 葉 憲 之 (獨協医科大学学長)

運営委員会委員

簀持 淳*	石光 俊彦**	秋山 一文	阿部 七郎	石井 芳樹
片桐 一元	黒須 明	桑島 成子	小島 勝	小嶋 英史
小林 哲	鈴木 純恵	田中 康広	千種 雄一	土岡 丘
中元 隆明	西山 緑	濱口 眞輔	春木 宏介	平林 秀樹
前川 正夫	緑川由紀夫			

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	千種 雄一**	阿部 七郎	石井 芳樹
小島 勝	田中 康広	中元 隆明	濱口 眞輔

*委員長 **副委員長

編集事務員

鯉沼 行子

編集後記

この度 Dokkyo Journal of Medical Science / 獨協医学会雑誌 43 巻第 1 号をお届けする運びとなりました。原著 10 編 (英文 5 編, 和文 5 編)、症例報告 1 編 (和文)、短報 1 編および総説 1 編が掲載されております。生理学、薬理学、分子生物学及び疫学と幅広い分野から、どれも各講座・診療部門での昼夜を問わず研鑽が結実しており、本号発刊にあたりご投稿いただきました先生方、そして査読・編集・発行と多大なご尽力をいただきました先生方には心より御礼申し上げます。

かつてトランジスタラジオや自動車に始まり、やがて漫画やアニメーション、近頃では日本食が人気を博しておりフランスではワイングラスに吟醸酒が注がれ、スコットランドで日本のウイスキーが評価されております。家電製品から半導体開発まで我が国の物造りへの信頼は厚く、「爆買い」と称される買物客が秋葉原の街を賑わせ、お花見や紅葉のシーズンともなれば古都やリゾート地は海外からの観光客で混雑します。実際に来日してみて「おもてなし」に触れ日本のリピーターになる人も少なからず、確かに新幹線は秒単位の遅れを恥じ、ラッシュ時の山手線など一周全体が車輦で連結されているかの如く密に運行し、温水洗浄便座の初体験は驚愕を超え畏敬となりました。こうした日本の「独特さ」は、日本人の物事に対する飽くなき追求を求めたがる性分に由来するのかもしれませんが、たとえば「下町ロケット」が共感を得て大ヒットし、一般の主婦のブログですら驚くほど精緻なキャラ弁の画像であふれております。

これまで日本人のノーベル賞受賞者は (後にアメリカ国籍となった人を含め) 過去 24 人に上り、他のアジア諸国と比

べ群を抜いた人数です。そのうち 2000 年以降の受賞者は 16 人におよび、物理学、化学および医学生理学と、すべて自然科学分野での受賞です。これは 20 世紀にはじめた研究の種が幾年を経て実を結んだことに他なりません。欧米のアジア人が多く所属するラボでは、日本人の勤勉さは群を抜くという意見を少なからず耳にしますので、このお家芸ともいえる粘り強い研究の積み重ねがノーベル賞受賞数の差を生んでいることは事実ではないでしょうか。しかし昼夜を問わない研鑽の積み重ねは時としてワークバランスを乱し、ワーカホリックは己の心身を害したり家族との関係を損ねる場合があるのもまた事実です。研究の成果を求めるあまり薬剤効能や培養細胞のデータを改ざんした事件は記憶に新しく、こうした事件の背景には我が国が誇るべきお家芸とその歪みが横たわっているのかもしれませんが。

現在高齢化社会が問題となっておりますが、我々世代の後にはやがて人口減少が待っております。となれば異文化を受け入れていかなくてはたちゆかなくなるでしょうし、勿論それは今の自分が思うよりは自然な形でなるようになってゆくのでしょうかけれど心細く思います。現在他の国々から注目されている技術や研究へのこだわり、他を思いやる細やかな心配りなどの日本の「独特さ」は、未来に心細くなった時にきっと財産となるのではないのでしょうか。これから獨協医学会誌に投稿する若い研究者にもワークバランスを保ちながらも、お家芸は伝えていかなくてはと思います。益々の当医学会の発展を祈念いたします。(阿部七郎)

2016年3月20日印刷

第43巻 第1号

2016年3月25日発行

編集発行人

獨協医学会

稲葉憲之

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

製作

教文堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136